

ぼくらの考える 金型屋経営戦略

(株)カワマタ・テクノス 代表取締役社長

川又 重雄 Shigeo Kawamata



1967年 生まれ
1989年 大学卒業後、川又製
作所入社
2000年 カワマタ・テクノス
取締役就任
2001年 代表取締役就任

〒300-2401 茨城県つくばみらい市台 1056-1
TEL (0297) 52-6195
創 立：1972年7月
資本金：1,000万円
従業員：50名

つくばの地から

当社は、東京から程近く緑豊かな茨城県つくばみらい市にて、ゴム金型の設計・製作および試作・量産のゴム成形を行っている(図1)。敷地内に「金型工場と成形工場を持つ」という利点を活かし、「製品の具現化までを一貫生産することにより短納期で提供する」、「精度の良い金型を製品成形検証で保証し提供する」など、仕事の効率化を提案しながら、国内の自動車関連および光学機器関連の顧客と取引きさせていただいている(図2、図3)。2005年1月に品質マネジメント規格ISO 9001:2000(現2008)、2009年11月には環境マネジメント規格エコアクション21を金型部門、成形部門ともに取得し活動している。

2011年は、ギリシャ危機に端を発する円高為替相場の影響により諸外国での現地生産に拍車がかかる中で、日本の産業、サプライチェーンに大きなダメージを与えた東日本大震災が発生した。その復興を進める中で今度は日系企業が多く進出しているタイランドでの大洪水と、ネガティブな要素が多く発生した年であった。当社の2011年は終わってみればバタバタと忙しい一年であった。2012年1月の時点では不安定情勢の中でも引き合い案件もあり、順調な生産活動を行っている。しかし、昨今のトレンドとして、2008年のリーマン・ショック以来、1年間の仕事の流れが変わり「見通し」というものがまったく読めなくなってきている。

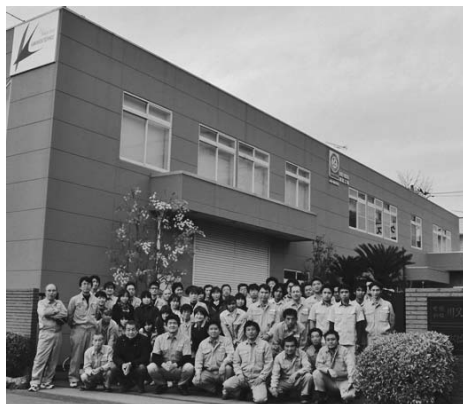


図1 2011年12月全社員と会社前で